

平成29年度 保育リーダーゼミナール 開催要領

1 目的 これまでの保育実践を客観的かつ論理的に振り返るとともに、主任保育士として自身の実践力の向上のみならず、職場におけるスーパーバイザーとしての役割を果たすための知識・技術の習得を目的とします。

2 目標

- ①自身の実践を振り返り、気になる様子の子どもの保育に関する専門知識と技術を高める
- ②質の高い保育に向けたチームアプローチの視点・方法を学ぶ
- ③スーパービジョンを体験し、スーパーバイズ（評価、助言、教育、指導、相談、支援）に必要な知識・技術を理解する

3 期日・会場

回数	日程	時間	会場
第1回目	平成29年 7月 3日 (月)	10:30～16:30 (第1回目のみ10:20開始)	兵庫県社会福祉研修所 3階 中研修室2
第2回目	平成29年 8月 7日 (月)		
第3回目	平成29年 9月 4日 (月)		
第4回目	平成29年10月16日 (月)		

※全4回を通じて受講いただく研修です。

4 受講対象 県内（姫路市を除く）保育所、認定こども園に勤務し、全4回を通じて受講できる主任級保育士（新任保育士及び所長を除く）。

※これまでに、本ゼミナールを受けたことがない主任級保育士、又は主任級保育士に相当する方で、かつ保育士の経験年数が通算5年以上の方を対象とします。

5 受講定員 30名（原則、先着順）

※申込状況によっては、1施設当たりの参加人数を制限させていただくことがありますので、ご了承ください。

6 受講料 24,400円

7 申込方法 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、原則郵送によりお申込みください。やむを得ずFAXでお申込みされる場合は、必ず送信確認のお電話をお願いします。

8 申込締切 平成29年6月5日（月）必着

9 受講決定 受講の可否は、申込者本人に受講決定通知にてお知らせします。

※受講料は受講決定通知に同封する払込取扱票にて、期限までに郵便局でお支払い願います。

10 キャンセルについて

- 6月26日（月）までにキャンセルされる場合は、受講料を返金します。
- 6月27日（火）以降のキャンセルの場合は、受講料を返金いたしません。研修資料の送付をもって代えさせていただきます。

11 日程表

	日時	研修科目	研修内容
第1回	10:20	開講／オリエンテーション	
	10:30 ～ 12:00	【講義・演習】 「保育に求められる専門性 ～気になる子の保育から考える～」	1. 4日間の研修目標 2. 気になる子どもたちへの保育実践と現状
	13:00 ～ 16:30	【講義・演習】 「子どもの理解・実態把握の視点と方法」	1. 気になる子どもの保育の視点と方法 2. 実態把握（アセスメント）の視点と方法
	16:30	1回目終了／事後課題の作成	
第2回	10:30 ～ 12:00	【グループワーク】 「自身の子どもの理解・実態把握と保育目標を振り返るⅠ」	1. 前回の振り返り 2. 事後課題の共有を通じた自身の保育と子どもの成長の振り返り
	13:00 ～ 16:30	【講義・演習】 「子どもの理解に基づく対応について」	1. 子どもの対応や支援で困る場面を整理 2. 1に対しての対応策の検討
	16:30	2回目終了／事後課題の作成	
第3回	10:30 ～ 12:30	【グループワーク】 「自身の子どもの理解・実態把握と保育目標を振り返るⅡ」	1. 前回の振り返り 2. 事後課題の共有を通じた自身の保育と子どもの成長の振り返り
	13:30 ～ 16:30	【講義・演習】 「よりよい保育に向けた カンファレンスの意義と方法」	1. 模擬カンファレンスの実施を通じた意義と方法の理解 2. 若手保育士への支援の視点と方法 3. 保護者支援の視点と方法
	16:30	3回目終了／事後課題の作成	
第4回	10:30 ～ 12:30	【グループワーク】 「自身の子どもの理解・実態把握と保育目標を振り返るⅢ」	1. 前回の振り返り 2. 事後課題の共有を通じた自身の保育と子どもの成長の振り返り
	13:30 ～ 16:30	【ワークショップ】 「研修を生かした今後の取り組み」	1. 4回の研修の振り返りとまとめ
	16:30	閉講／修了レポートの作成・提出	

【講師】 神戸親和女子大学 発達教育学部 准教授 佐藤 智恵 氏

【専門領域】

障害児保育に関する研究、保育者の専門性・保育観に関する研究、子育て支援

【略歴】

鳴門教育大学大学院学校教育研究科（障害児教育専攻）修士課程修了

広島大学大学院教育学研究科 博士課程後期 教育人間科学専攻修了 博士（教育学）

保育士、臨床発達心理士

12 レポート作成について

本研修は受講者の事前レポートを基に演習を進めていきます。事前レポートの提出がない場合は、受講できないことがありますので、ご注意ください。

（1）事前レポートのテーマ：特別な支援が必要な子どもの保育を考える（2,000字程度）。

初回研修日までの事前レポートとして、次の①、②の内容を含めたレポートを作成いただきます。

- ① あなたが勤務する保育所で実践されている、特別な支援が必要な子どもの保育に関する実践事例
- ② ①を通して、あなたが考える「保育士に求められる専門性」と「現場実践の問題点」について

(2) 事前レポートの提出期限：**6月26日（月）必着**

(3) レポートの様式：受講決定通知の際に指定様式を送付いたします。

(4) 修了レポートについて

4日間の研修全日程を受講いただいた後、研修を通して得た学び・気づきと今後の保育実践について、修了レポートを作成いただきます。

13 申込み・問合せ先

兵庫県社会福祉協議会 社会福祉研修所 研修第1部（担当：塩谷・荻田）

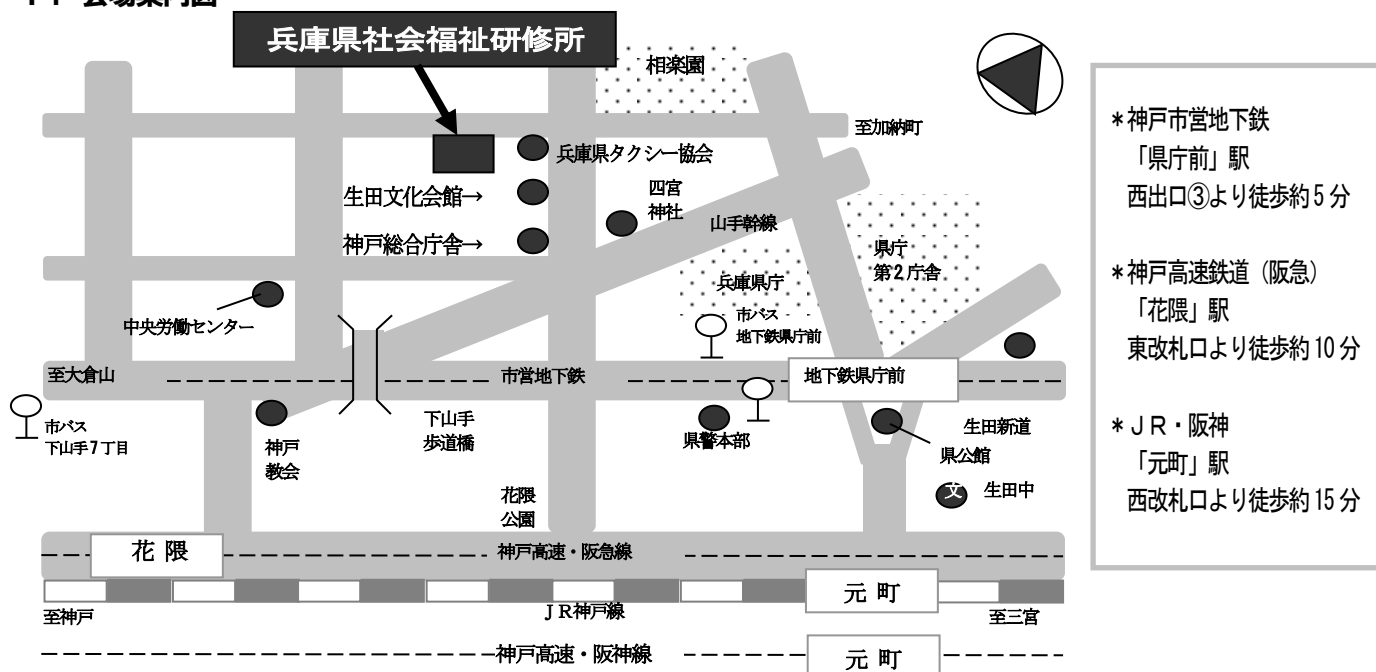
〒650-0004 神戸市中央区中山手通6-1-30

(TEL) 078-367-3001 (FAX) 078-367-4522

(URL) <http://www.hyogo-f-kensyu.jp/>

※ホームページから、現在募集している研修事業の開催要領のダウンロード等ができますので、ご活用ください。なお、ホームページを介してお申し込みはできませんので、ご了承ください。

14 会場案内図



平成29年度 保育リーダーゼミナール 受講申込書

兵庫県社会福祉協議会
社会福祉研修所長 様

所属名 _____

所属長名 _____ ㊞

下記のとおり申込みます。

(平成29年5月1日現在)

ふりがな			性別	※推薦順位	
氏名			1. 男 2. 女	推薦順位/申込総数 /	
職名			年齢層	歳代	
担当児 年齢	1. 有 ⇒ () 歳児担当 2. 無	保育士 経験年数	通算		年
ふりがな			運営主体		
保育所名			1. 公立 2. 社会福祉法人 3. その他 ()		
勤務先 所在地	〒 TEL : FAX :				
保育所 規模	定員	現員	保育士数		
	人	人	人		
参考事項	主任保育士	障害児保育	延長保育	一時保育	
	有・無	実施・未実施	実施・未実施	実施・未実施	
	休日保育	産休明け保育	病後児保育	縦割り保育	
	実施・未実施	実施・未実施	実施・未実施	実施・未実施	
備考					

《ご記入に際しての注意事項》

*該当する事項に記入または○印をつけてください。

*複数名お申込みの場合は、申込書をコピーし、1人につき1枚にご記入ください。

*推薦順位は、2名以上お申込みをされる場合のみ、記入してください。

【個人情報保護法に基づく取り扱い】

- (1) 「受講申込書」に記載された個人情報は、本研修業務の運営以外の目的に使用することなく、また、その管理については、兵庫県社会福祉協議会「個人情報保護規程」に基づき適正に行い、無断で第三者に提供することはありません。
- (2) 演習等への活用及び受講者相互の情報交換、交流を円滑に行うことを目的として、氏名、所属名(事業所名)を記載した「受講者名簿」を作成し、当日受講者に配付します。

申込締切：平成29年6月5日(月) 必着